

全国コミュニティ・スクール研究大会in仙台  
地域とともに学校づくり推進フォーラム2025仙台

## 第5分科会 熟議のまとめ

熟議のテーマ

楽しく、安心して暮らせる  
わたしたちの町

## 「子どもと大人との熟議」を取り入れた経緯と提案の思い

仙台市では令和4年度中に全校がコミュニティ・スクールとなり、地域とともに歩む学校づくりを進めています。発足当初、学校運営協議会での熟議は、委員によるものが中心でしたが、各研修等を通して、子どもや教職員を交えた熟議を行うよう発信を行ってきたことで、近年では、若手教員や児童生徒を交えた熟議を行う学校も増えてきました。今回の第5分科会での仙台市立原町小学校も、「総合的な学習の時間」を通しての「子どもと大人の熟議」によって地域活性化が図られた事例を発表していただいっています。

仙台市では、子どもを真ん中にしながら、学校・保護者・地域それぞれが「当事者」として関わっていくことにより、コミュニティ・スクールとしての取組が一層実効性のあるものとなっていくことを目指しています。だからこそ、「子どもと大人との熟議」は、単なる「子どもを交えた話し合い」ではなく、子どもたちが地域の未来を誇りに思い、創る力を育むものにしていくものだと考えています。本大会の分科会の中に「子どもと大人との熟議」を取り入れたのは、全国の皆さんとともに、「子どもを真ん中に据えた学校運営の大切さ」について考えていただきたいという思いがあります。

上記の思いから、今回の大会では、まず子ども同士のプレ熟議を行い、「子どもの考え方を明確にし、大人に提言した上で熟議をスタートする」ことにしました。テーマを「楽しく、安心して暮らせるわたしたちの町」とし、プレ熟議では、「どんな居場所があったらいいだろうか」「どんな町になったら楽しいだろうか」といった子どもの思いを自由に出し合いながら、話し合いを深めていきました。

この方法には、以下のような思いがあります。

- ・子どもの意見を尊重し、表明の場を確保すること
- ・大人が子どもの視点を受けて、議論を深めること

あくまで一つの提案であることをご理解いただくとともに、今回の「子どもとの熟議」に、これからコミュニティ・スクールへの可能性を感じていただけたら幸甚です。

## 当日の流れ

12:30～

こどもたちによる  
「プレ熟議」

- ・挨拶
- ・CSマイスター等担当者紹介
- ・趣旨説明
- ・自己紹介（アイスブレーク含む）
- ・プレ熟議  
(テーマ)

「楽しく、安心して暮らせるわたしたちの町」  
(大人たちへの提案)

13:30～

休憩(参会者入室) ※こども発表者の練習

13:50～

分科会⑤  
「こどもたちの視点」

- ・趣旨説明・発表者紹介
- ・事例発表  
発表者：仙台市立原町小学校 教頭 遠藤 勝彦 氏
- ・質疑応答
- ・CSマイスターによる事例の深堀、焦点化、熟議のポイント整理  
文部科学省CSマイスター 高野 瞳 氏

(休憩)

- ・熟議(テーマ)

「楽しく、安心して暮らせるわたしたちの町」  
※こどもからの提案を受けて、こどもと大人での熟議

- ・講評

文部科学省CSマイスター 猿渡 智衛 氏

15:35

分科会終了

(参加小中学校)

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| ・仙台市立上杉山通小学校    | ・仙台市立通町小学校 |
| ・仙台市立原町小学校      | ・仙台市立三条中学校 |
| ・仙台市立宮城野中学校     | ・仙台市立長町中学校 |
| ・仙台市立仙台青陵中等教育学校 |            |

小学6年生～中学3年生 23名が参加

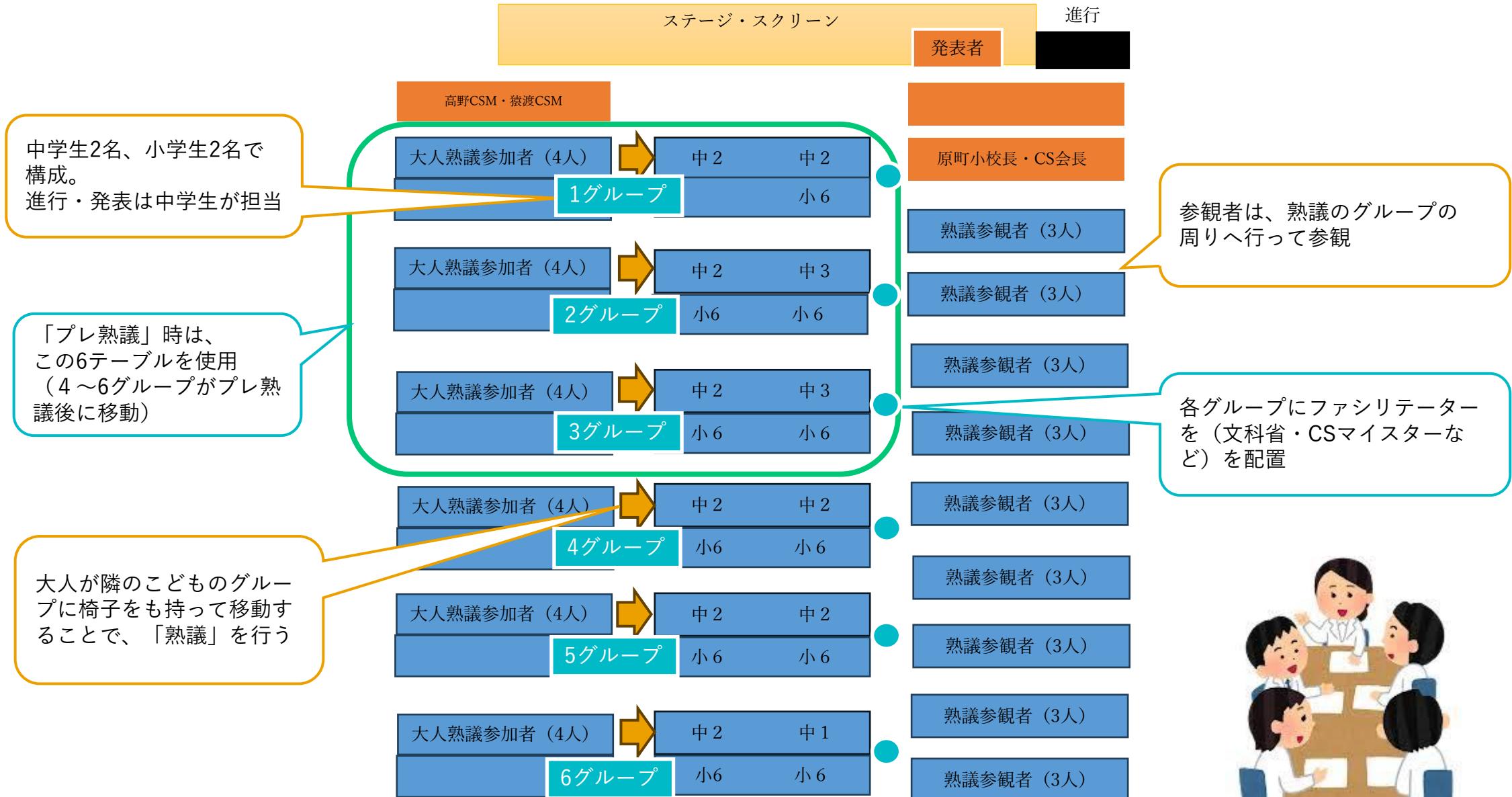
プレ熟議の流れ

- (開始前に進行役と発表者の決定・打ち合わせ)
- ・開会の挨拶・流れの説明(5分)
  - ・アイスブレーク(7分) 「○○がすきな△△」
  - ・プレ熟議
    - ①付箋に意見を書く。(3分)
    - ②付箋を貼りながら、順番に話す。一つ紹介したら、次の人というのを時間内でできる限り行う。(10分程度)
    - ③模造紙にカテゴリー別で分類し、自由に話し合いをする。(35分)

熟議の流れ

- ①子どもの発表(グループごと2分程度)  
※大人は、発表を聞きながら付箋に記入。
- ②大人の価値付けと自己紹介(5分)  
子どものプレ熟議を聞いての感想・価値づけと自己紹介。
- ③大人の意見を出す(8分)  
書いた付箋を基に話す。
- ④熟議(17分)
- ⑤感想・振り返り(5分)

# 会場図



# 熟議の内容 まとめ



# 1グループ

## 子どもの熟議での内容や提案

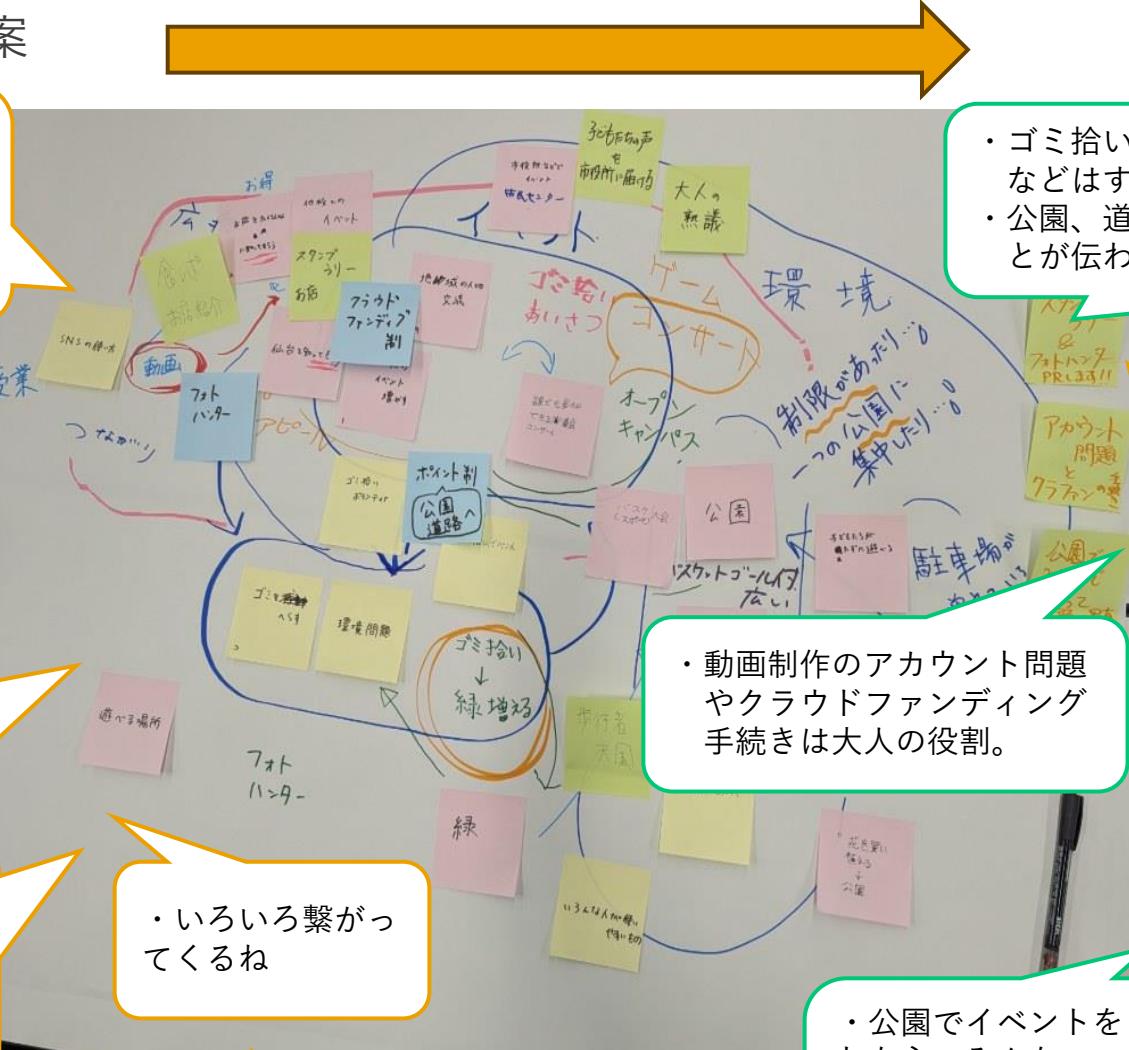
地域との交流**イベント**がほしい  
(挨拶運動やゴミ拾い、コンサートやゲーム大会など)

- ・イベントと**ゴミ拾い**と一緒にやつたらいいのでは?
- ・ゴミ拾いボランティアも増えるのでは?

地域や地域のお店について知ってほしい。

小学校では、**動画**などでアピールしたいという意見がでていた。

・**公園**を増やしてほしい。  
一か所に集中してしまうと苦情に入る。  
ボール遊びができないなど使用に制限がある。  
近くに遊べる公園がない。  
バスケットゴールを付けてほしい。



・**道路**が狭い

・駐車場が増えているけど、**緑**も増やしてほしい。

・いろいろ繋がってくるね

・公園でイベントをしたら、みんなで「**笑顔**」で写真を撮ろう！

## 大人との熟議での内容

- ・ゴミ拾いイベントの相乗効果、お店を動画でPRするなどはすごくいい取組。
- ・公園、道路、緑化など、地域の環境に困っていることが伝わってきた。

・地域のことを知つてもらうのに、**スタンプラリーやフォトハンター**などのイベントや動画配信を行つたらどうだろう。

それを**ポイント制**や**クラファン**にすることで、公園や道路、緑化の改善につなげられるのではないか。

大人や行政の力が必要。

公園で**イベント**をすれば、イベントということで苦情もなくなる？  
公園の必要性もわかってもらえるかも。

・大人の熟議によって、こどもたちの声を届けたい。

## 2グループ

### 子どもの熟議での内容や提案

#### ①放課後の活動の場所を充実させてほしい

公園がとてもつまらない

→遊具が全然ない。使い方が限定されている。ボールが使えない。声も出して遊べない。自由に遊びたいのに、保護者が一緒にやなきゃだめ。

⇒もっと子どもの声を基にした遊び場にしてほしい。一人で遊べるように安全な対策をしてほしい。もっといろいろ遊びができるようにしてほしい。一緒に公園を考えられたらいいよね。

・図書館とかは新しいタイプも出ているから、みんなにとって使いやすい形を考えていきたいね。

#### ②放課後の学びの場が欲しい

家では誘惑が多くて、自習できない。図書館をもっと改善してほしい。

⇒図書館でもっとリラックスできるスペースがあったらいいな。ソファとかあつたり、お菓子を食べられたりしたらしいね。自習室は一人の机ではなくて、グループで勉強できるようにすると、隣の人から刺激をもらえていいね。衝立があって意識はしながらも、一人の世界に入れたらいいな。塾に行っている人はいいけど、行ってない人にとっては必要だよね。学校にもそういう場所があつたらいいな。大人が多いと、図書館で注意されるかもって思って使いづらい。

・仙台アプリはいいね。みんなが持つためにはどうしたらいいんだろうね。技術的なところで何か課題はあるかな。

・お年寄りはスマホも意外と持っているから、大丈夫かもね。もしくは、そういう情報は広報紙とかにもあるから、そういうのを改良してもいいかね。

#### ⑤観光にもっと力を入れて、いろいろな人に来てほしい

⇒さっきの防災アプリに観光情報とか入れれば、観光のことも知れるし、突然地震とかあったり、熊と出合ったりしたら、対応ともできるから、いいんじゃないかな。防災アプリを仙台アプリっていう名前にして、市のことをいろいろと入れたら、市民も観光客も使えるし、仙台の町全体が盛り上がるし、安全にもなるからから、いいんじゃないかな。

### 大人との熟議での内容

#### ④安全な街になってほしい

熊対策をもっとしたほうがいい。

→実際に熊が出たら、どうしたらいいかとかを教えてもらいたい。どこに熊が出たとかすぐに知らないと意味がない。高齢者も安心できるようにしたらしい。

⇒防災アプリを開発して、市民みんなが入れておけば、何かあったらすぐに知れるからいいと思う。

#### 仙台アプリについて

⇒でも、だれもが使いやすいって考えると、いきなりすべてのコンテンツを入れたら、わかりづらいから、優先順位を付けたらどうかな。それなら、まずは市民が優先だね。熊対策などの生命を守る情報の発信をしたら、みんな安心だよね。

⇒次は観光情報かな。でも、市民にとって楽しい街なら、仙台の人が参加できるイベントとかの情報を伝えたらいいね。各商店街のスタンプラリーとかも伝えたら、その学校の人以外の人も参加するかもね。仙台のいろいろな商店も知られて、お店の人もうれしいよね。

⇒図書館の自習室のこととかも、アプリで知られたら、便利だよね。

⇒でも、お年寄りとかスマホを持っていない人もいるから、そういう人たちが嫌な思いをしないように、アプリ以外の発信方法も考えられたらいいよね。新聞かな。でももうあまり読まれてない気もする。こういうのと一緒に考えられたらいいな。

⇒しかも、今の話のものを全部入れたらやっぱりごちゃごちゃになっちゃうから、知りたいことが知れるようにできら使いやすいよね。

#### ③地域の人と交流できるイベントを企画したらいい

商店街がどんどん寂しくなっているから、スタンプラリーをやったら商店街が盛り上がるってクラスで考えてきました。

→でも、商店街の10個のお店だけだと、不公平なんじゃないかな。スタンプラリーをただやるだけだと、商店街の活性化に本当につながるのかな。スタンプを集めたら、何かもらえたらしいよ。

⇒もっと、商店街の人にとってもwin-winになるような良さを考えたいね。

### 3 グループ

子どもの熟議での内容や提案

人が集まる施設が必要

- ・手軽に買い物ができる場、遊べる場がもっと欲しい、図書館が欲しい

災害の時に迷わず避難できる

公民館も開放したらいい

学校の図書館や体育館を開放したらいい

交流の場をつくるのが大事

- ・地域のお祭りを増やす
- ・放課後に地域の人と一緒に遊ぶ
- ・話しかける・挨拶する

学校を越えた交流を増やす

課外授業を増やしたい

学校を子どもだけの場ではなく、大人のための場にもしたい

大人との熟議での内容

日頃からつながる学校と地域を実現するため  
にどんなことをしたら良いだろうか

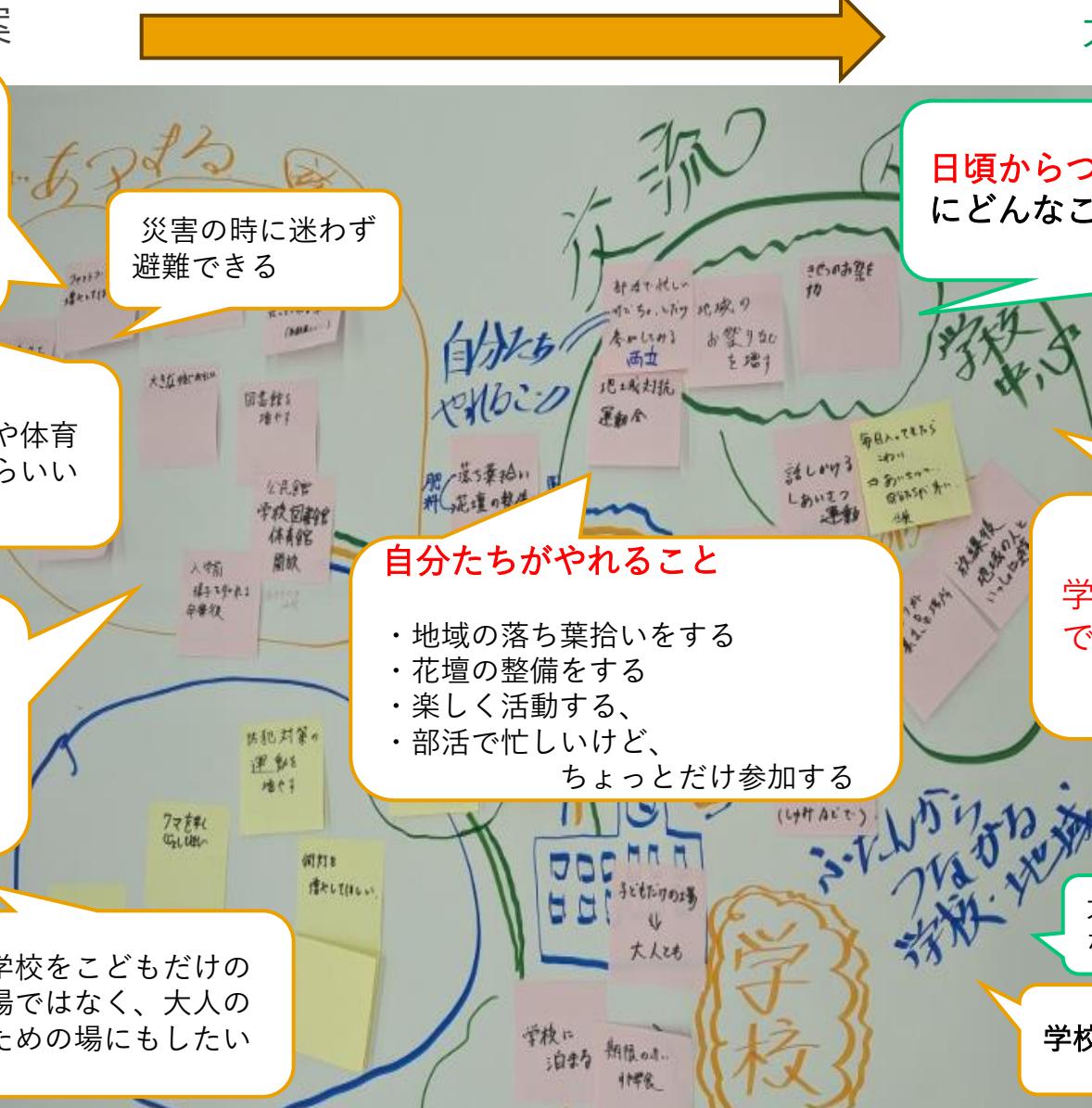
学校と一緒に泊まるイベントをする

学校を使って子どもと大人が交流  
できる機会を設ける

期限が近い非常食を  
食べるイベントをする  
(防災訓練などで)

大人の経験談など…

学校を越えた交流を増やすことが必要



# 4 グループ

子どもの熟議での内容や提案

## ① 「必要なもの」をあげてみました

- ・公園（遊び場）
- ・交流・イベント機会
- ・熊対策
- ・ごみ問題

## ③自分たちがもとめる 公園の条件とは

- ・ボール遊び
- ・芝生

↓  
理想の公園  
**「人間ドッグラン」**

## ② 「公園」に絞り、課題を出し合いました

- ・制限なく自由に遊べる公園がない  
(ボール禁止、騒音、けが、老朽化、狭い)
- ・治安が悪い
- ・外からの見通しが悪く危険
- ・使用ルールを守らない人が多い  
(そのために使用できなくなった公園もある)
- ・魅力的ではない  
(有料のプレイパークなどと比べて)

大人との熟議での内容

## ④大人との交流によっての気づき

- ・**年齢**によって求める公園の条件が違う
- ・**地域の特性**によって求める公園の条件が違う
- ・**屋外**だけでなく**屋内の遊び場**の整備も必要だ  
(寒さ・暑さが増しているため)

## ⑤実現するために何をすればいいのか

- ・身近な自分たちの学校の**校庭開放のルールの見直し**を提言しては？
- ・見守りやパトロールをしてくれる**ボランティア人材**を募集しては？
- ・新しい公園を創ったり、再整備が検討されている場合には、**子どもの意見も聞いてほしい**
- ・だれに・どこに提案すればよいのだろう？

## 5 グループ

子どもの熟議での内容や提案

大人との熟議での内容

### クマ対策

最近仙台にも出ました。  
心配しています。  
何とかなりませんか？

クマ対策、ゴミ、不審者対策などもっと発信できるのでは？

発信方法を工夫したい

安心安全な街にしたい。  
交通ルール、不審者など・・・

部活の帰りに遅くなり、  
とても不安です。

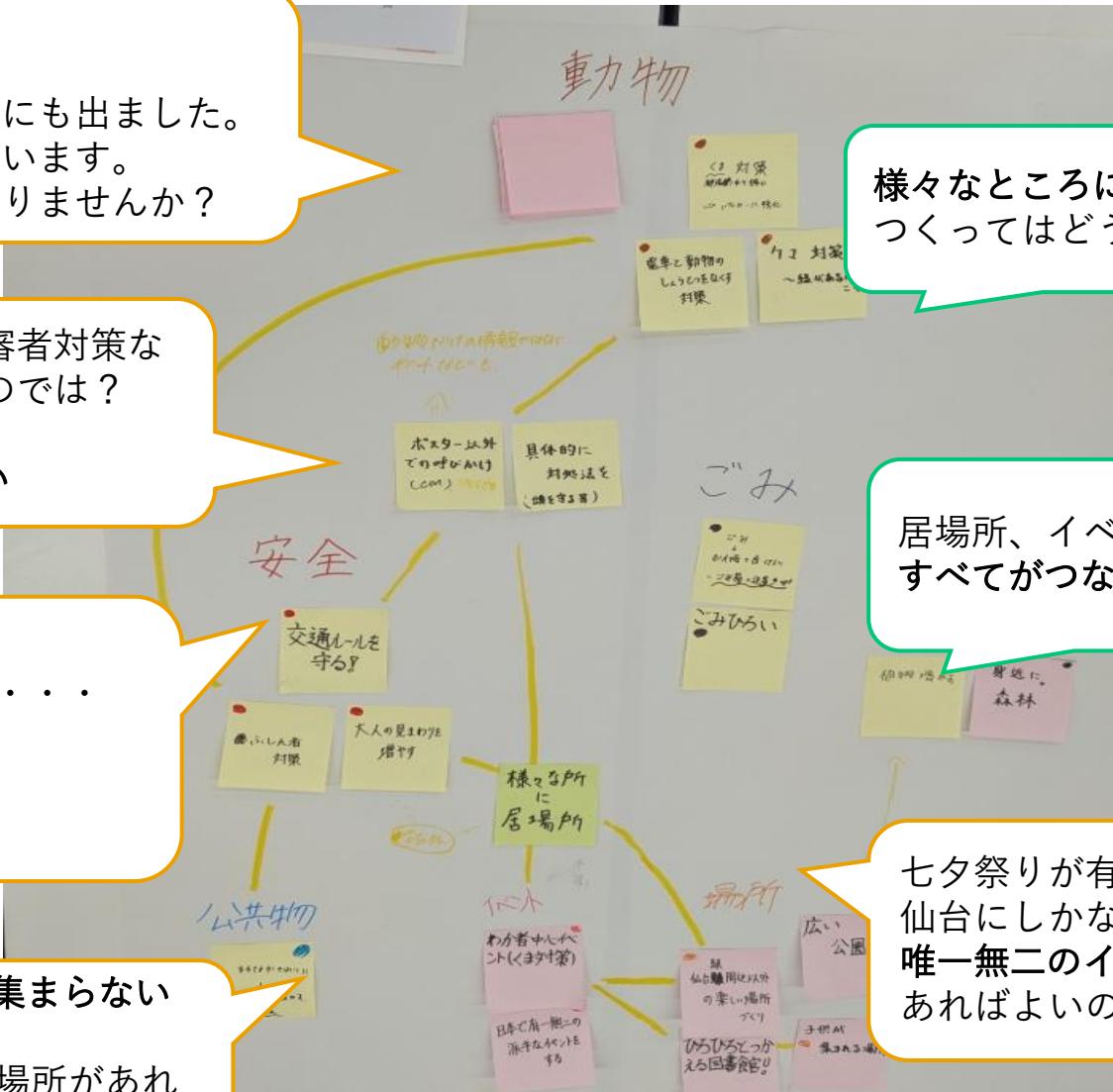
仙台駅しか人が集まらない

他にも集まれる場所があればいいのでは？

様々なところに居場所を  
つくってはどうか

居場所、イベント、発信  
すべてがつながっていく

七夕祭りが有名だけど、  
仙台にしかない  
唯一無二のイベントが  
あればよいのでは？



6 グループ

# 子どもの熟議での提案や解決策

## 1 公園整備

- ・今の公園は、サッカー、野球などボール遊び禁止。小さい子やお年寄りはいいが、若い世代も楽しめる公園にしたい。
  - ・防災、災害対策を兼ねた公園がいい。

①エリア別の公園をつくる（ボール遊び  
スペース、スケボーエリアなど）

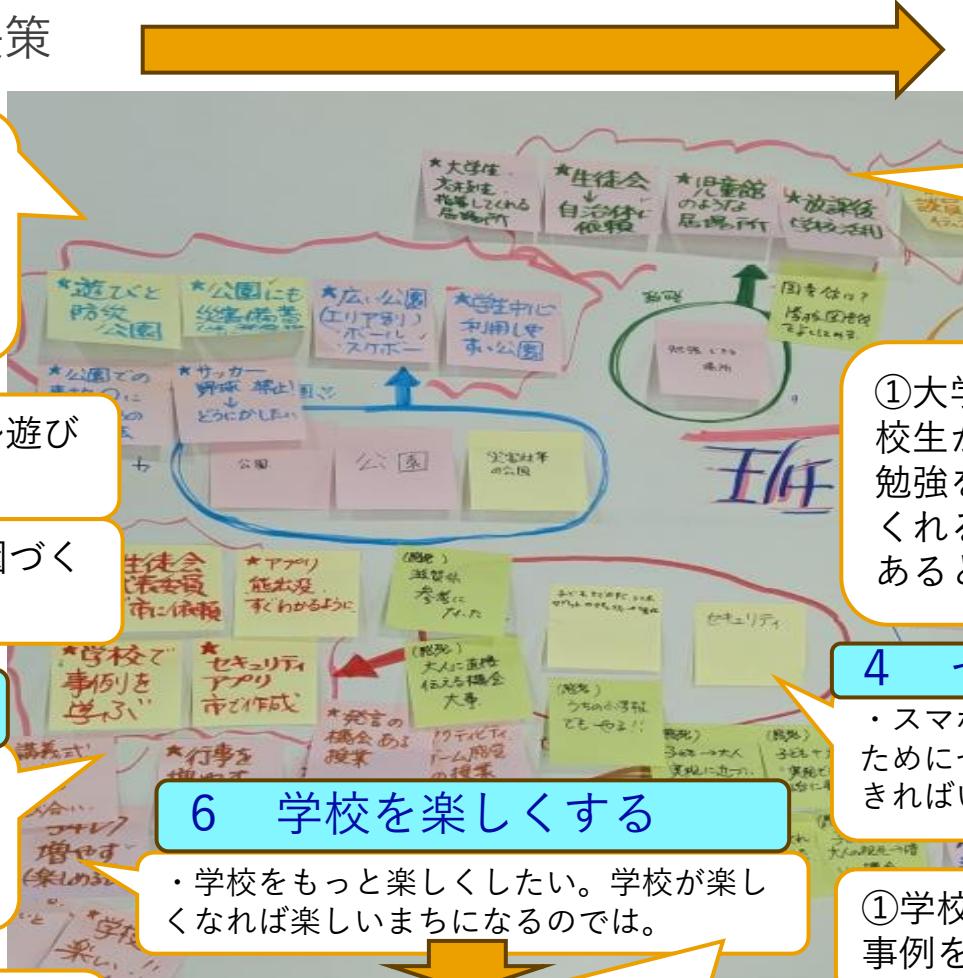
②遊びと防災の機能をもたせた公園づくり（避難場所・救援物資備蓄）

## 2 安全な通学路・道路

- ・街灯が少なく、帰り道が怖い。
  - ・歩行者や車にぶつからない安全な自転車専用レーンを整備してほしい。

①子ども目線で危険箇所マップを作成し、生徒会、代表委員会で市役所や議会に伝える。

★危険箇所を行政相談員に伝える方法もある。小中学生の要望も解決できる。



#### 大人との熟議での解決策の深まり

### 3 勉強できる場所・居場所づくり

- ・図書館だと個人で静かに勉強しなければならない。友達と教え合いながら勉強できる場所が欲しい。
  - ・中学生も活用できる児童館のような居場所があればいい。

①大学生や高校生が気軽に勉強を教えてくれる場所があるといい。

## ★学校図書館 を活用する方 法もあるので は？

②空き家を活用した居場所づくりを生徒会要望として自治体へ伝えたい。

## 4 セキュリティ

- ・スマートフォンやPCを安全に使えるためにセキュリティを強化できればいい。

## ①学校の授業で危ない事例を学ぶ。

②セキュリティアプリ  
を市で作成し配布する。

★こどもだけではできないので、要望を伝えていくことが大事。

## 5 多世代交流

- ・学校以外の人ともっと交流を深めたい。

### ①地域のイベントに参加

★当日だけでなく、企画から参加することもできる

②地域の人と一緒にやるごみ拾いのボランティアを、ポイントゲームにして楽しむ方法もあるのでは。

熟議で大切なことは、右の小中学生の言葉に凝縮されています。それはワイワイ語ることの楽しさと、多様な立場や世代の人たちの多様な意見や考えに触れることです。

学校や地域の課題を解決することはもちろん目的の一つですが、まずは熟議を通して、価値観も考え方も違う学校・地域・保護者の皆さんのが信頼関係を深めることができます。その意味において、ワイワイみんなが思ったことを語れる、そしてワイワイ語る中で、熟議そのものが、地域の多様な人たちと語ることそのものが「楽しい」と感じる。熟議がそうした場となっていることはとても大切なことです。

その上で、こうした熟議に子どもたちが参加することにどのような意義があるのか、しっかり考えて、地域の参加者みんなでその価値を共有してから行えるとよいと思います。正直、子どもたちの意見を聞き取るだけではもったいないです。国語の授業でも、生徒会や児童会でもない、学校運営協議会の熟議の場に子どもたちが参加することの意義。学校を核とした地域づくりを目的とする熟議に子どもたちが参画することの意味を大人が考えて、小中学生が語ってくれた熟議のよさを大切にしながら、全国に広げていくことで、ともに学校や地域をつくっていく作り手としての子どもたちが育っていくと思います。

これを機に、子どもを入れた熟議が広がりを見せ、コミュニティ・スクール、そして地域学校協働活動がますます発展していくことを期待しています。

## こどもたちからの感想

プレ熟議で学校の違う友だちとも仲良くワイワイ話が出来て、その後もはじめは緊張したけど、大人の人たちとワイワイ熟議が出来て、本当に楽しかったです。話をたくさんして仙台のことがますます好きになりました。（小学生）

はじめはすごく緊張したけど、いろいろな県の大人の人の意見を聞くことができたり、同世代だけど違う学校の小学生や中学生の意見を聞くことができて、本当に楽しかったです。こうやってみんなで街のことを考えて、話し合うことは初めてだったけど、大人が入ってくれたことで、子どもの視点と大人の視点で見方が広がり、とても楽しいことだと感じました。

（中学生）

大人に直接伝える機会が大事だと思いました。



自分たちだけでは実現できないと思っていたことも大人の話を聞いて、実現できることが分かりました。